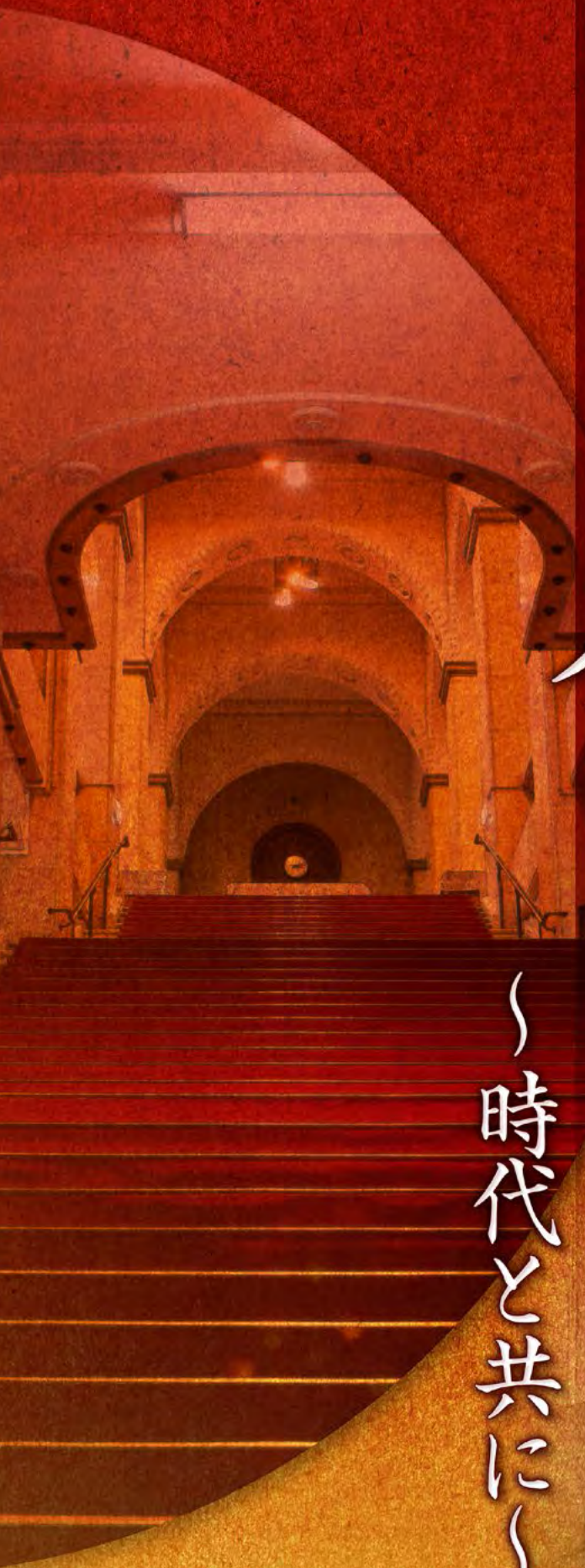


# 総合図書館 今昔物語

（時代と共に）





## ごあいさつ

東京大学附属図書館では、毎年、全学で所蔵する貴重な資料を学内外の皆様にご覧いただくため特別展示を行っています。今年度は、新図書館計画の進展を機会に、総合図書館の歴史を振り返りつつ未来を想像するための一助として、「総合図書館今昔物語：時代と共に」を企画いたしました。

現在の総合図書館は、関東大震災で焼失の後、ジョン・ロックフェラーJr.氏より400万円（現在の貨幣価値に換算すると約100億円）の寄附を受けて1928年（昭和3年）に完成したものです。震災での教訓を生かし鉄筋コンクリート造りの頑強な構造を備え、さらにゴシック風の細部とアーチを外観に持つデザインとなっています。

今回の展示では、「前史（関東大震災前）」「震災と震災後の再建・復興期」「その後」の3期における写真パネルを冒頭に配置し、さらに館史資料室等に残された各期に関連する資料等をご紹介します。当時を物語る写真や文書とともに、火災に遭いながらも焼け残った蔵書や、各国から寄贈された貴重な資料群をこの機会にぜひご覧ください。

間もなく着工いたします新図書館建設は、百年先に夢をつなぐ大事業でございます。現在ご利用いただいている閲覧室などの館内施設が、時代とともに姿を変え、その時々々の学生・教職員の方々に学習と研究の場を提供し、東大の歴史とともに時を重ねてきたことを味わうとともに、将来の新しい図書館像についても思いを馳せていただければ幸いです。



東京大学附属図書館長

古田元夫

平成 25 年 10 月



# 年表 前史

元号	西暦	月	館長*	事項
明治8	1875	11		東京開成学校に「図書室」設置 <i>それ以前は「読覧室」と称す。</i>
明治9	1876	9		東京開成学校内に東京書籍館法律書庫が設けられた。(22日) <i>開成学校の要請による。</i>
明治10	1877	3		東京書籍館閉鎖。法律書庫は東京開成学校に移管された。(31日) <i>総坪数320坪あまりの独立した新図書館</i>
		4		東京大学創設。「書籍掛」が「図書掛」に改称
明治15	1882	10		「三学部(法・理・文)構内の旧教師館二棟を修理して図書館と為し」 <i>一ツ橋</i>
		7	田中稲城	書庫及び閲覧室の増築に着手。16年落成。
明治17	1884	8	谷田部梅吉	谷田部梅吉図書課取締となる。(22日～明治16年12月11日まで)
明治19	1886	10	松井直吉	「法・文学部は本郷に移転、法文学部建物の階上の一部を書庫、事務室及び閲覧室に充てた。
明治23	1890	10	木下廣次	帝国大学図書館規則制定。(14日付)三学部と医学部の図書館の規則上の総合。「東京大学図書館」は「帝国大学図書館」と改称。
明治25	1892	8	田中稲城	「法科大学の右手なる空地に図書館建設の工事を起こす。」 新図書館落成。(18日)
明治30	1897	6		「帝国大学図書館」を「東京帝国大学図書館」と改称、「館長」職制制定。
明治32	1899	2		「図書館商議会」設置、同規則制定。
明治39	1906			書庫増築に着手。(翌年3月竣工)
明治41	1908	6	和田萬吉	教員閲覧室・事務室増築着手。(翌年4月24日竣工)
明治42	1909			本館北翼の増築に着手。(翌年3月31日竣工)
大正7	1918	9		「東京帝国大学附属図書館規則」改正(30日付)、本館の管理下に部局、教室、研究室にも図書館を備え付けることになった。

\*附属図書館長の名称について  
附属図書館長の名称が使用されたのは、明治30(1897)年に「東京帝国大学官制」の公布以降のことである。  
それ以前の図書館業務の責任者は図書課取締、図書課監督、図書館管理と称した。



# 震災・復興

元号	西暦	月	館長*	事項	
大正12	1923	9	和田萬吉	関東大震災。附属図書館炎上全壊。工学部新館に仮事務室を開設。(5日)国際連盟で東京帝国大学図書復興援助の決議。(17日)第1回図書復興委員会開催。(27日)図書収蔵のため理学部物理教室、化学教室を利用する。(下旬)	
		10		図書復興事務のため高柳、上野両教授を海外に派遣する。(12日)海外諸大学、諸団体に援助依頼状発送。(中旬)	
		11		仮事務室を病院新築建物の地下室に移す。(1日)アメリカより第1回寄贈図書到着。	
		12		閲覧室を仮事務室内に開く。(定員20名)フランスで復興援助委員会組織される。(3日)ベルギーで復興援助委員会組織される。(14日)早稲田大学図書館で特別登館の便をうける。新図書館の敷地決定する。(中旬)	
		1		仮閲覧室(約150席)を建設。(下旬)イギリス、オランダで復興援助委員会組織される。(中旬)	
		3		震災展覧会(於図書館、1-2日)東洋文庫から貴重書収蔵の便を受ける。	
		5		図書復興委員及び幹事を公式に任命。(1日)京都帝国大学附属図書館を東京帝大のため解放される。	
		6	姉崎正治	「東京帝国大学震災写真帖」(英文)作成、海外の図書寄贈者に贈呈。イギリス援助委員会収集の寄贈図書第1回分到着。法学30番教室を図書収蔵に利用する。	
		7	大正13	1924	南英文庫寄贈される。(1日)フランスより寄贈図書第1回分到着。
		8		英国政府寄贈図書購入のため2万5千ポンドの支出を決議する。(1日)スイスより寄贈図書第1回分到着。	
		9		オーストリア、デンマーク、ドイツより寄贈図書第1回分到着。	
		10		ハワイ、スペイン、交趾支那、ジャムより寄贈図書第1回分到着。図書館仮事務室を拡張する。パチカン図書館より寄贈図書到着。図書館青洲文庫購入。議会図書館のカード全てを購入する。	
12		図書館復興のためロックフェラー財団から400万円の寄付を受けた。(30日)			



# その後

元号	西暦	月	館長*	事項	
大正14	1925	1		評議会でロックフェラー氏の寄附を受け、建築委員会の設置を決定。(14日)初めて建築委員会開催。(30日)フランスの楽器店より大部の楽譜寄贈。イタリアより寄贈図書第1回分到着。スウェーデンに復興援助委員会組織される。	
		5		姉崎館長視察のため渡米する。(2日)	
		7		南英文庫授受式(4日)姉崎館長帰朝。(9日)	
		8		閲覧室を修理し、定員を250名に増加する。(中旬)	
		9		ヒルシュフェルト文庫購入。	
		11		河本名譽教授より図書館にヒルシベルク文庫の寄贈あり。	
		12		新図書館の設計を建築委員会で決定する。(15日)ハンガリーより寄贈図書第1回分到着。エリオット文庫、フリッツ・フォン・ジーボルトの書簡を購入。	
		1	大正15	1926	新図書館建設地鎮祭(28日)建坪で旧図書館の約2倍強、延床面積で5倍強となる。
		3		図書館復興展覧会(於大講堂、1~2日)	
		12	昭和2	1927	第2回図書館復興展覧会(於大講堂、3~4日)
		9	昭和3	1928	「東京帝国大学附属図書館規則」改訂。
		12		新図書館の竣工式挙行。(1日)同日移転、事務開始。10日から閲覧業務開始。	
4		1925年来検討されていた指定書制度実施。			
5	昭和4	1929	グロスター公殿下来館。(4日)		
10		英国政府寄贈貴重書展示会開催			
11		ロックフェラーJr来訪。			
3	昭和5	1930	「東京帝国大学附属図書館復興帖」(和文・英文)刊行。(30日)内外の復興協力者に贈呈。		
11	昭和7	1932	「東京帝国大学50年史」刊行。		
8	昭和19	1944	市河三喜		
6	昭和24	1949	高木八尺		
昭和28	1953	4	高木貞二 / 未延三次 (4月10日以降)	和洋貴重書等を市川大門(山梨県)に疎開。	
		10	未延三次	第一高等学校附属図書館は東京大学教養学部図書室となる。	
				運用課に国立大初めの参考掛を置き、3階西北隅の自由閲覧室を参考図書閲覧室に模様替え。	
6	昭和35	1960		東側研究室の一部を図書館学資料室とした。	
10		図書館改善のための実態調査及び図書館幹部職員のアメ利カ大学図書館視察経費としてロックフェラー財団から約377万円の寄付。			
5	昭和36	1961	岸本英夫	第1回全学図書館連絡集会開催。(6日)	
6			附属図書館改善計画案出来上がる。(18日。商議会) 「 <i>記念館の性格の濃い図書館を機能的な近代的図書館に改造する。</i> (「東京大学附属図書館改善計画案」より)		
11			附属図書館改善計画案、評議会で承認。 全学総合目録の編成作業開始。		



元号	西暦	月	館長*	事項
昭和37	1962	2		3階一般閲覧室を開架閲覧室に改装完了
		8		総合図書館内部改装計画62年(昭和37年)度設計最終案完成。
		11		図書館報「図書館の窓」創刊。 学生への学外貸出開始。(12日)昭和37年度の改装に伴う設備費として約1,344万円決定。
昭和38	1963	5	岸本英夫	新聞閲覧室(参考室、日刊新聞閲覧室、雑誌室、2階学生閲覧室)開室。出納台、文献複写受付を1階に移設。(1日)昭和38年文教施設改装工事費決定。(5,516万円)
		8		エレベータ改修、暖房施設費として3,753万円の配当決定。大学資料保存のため地下書庫の一部に電動集密書架の設置決定。第2期(昭和38年度)工事着工。
9		「東京大学附属図書館基本規則」制定(学内の図書館を総称して附属図書館とし、「本館」を「総合図書館」と改称。 「 <i>東京大学附属図書館規則</i> 」廃止。		
3	昭和39	1964		総合図書館内部の改装完了。
11	昭和43	1968	伊藤四十二	学生により総合図書館封鎖。(22日)
2	昭和44	1969		封鎖されていた総合図書館は5日から開館。
12	昭和53	1978	藤原鎮男	図書館再建50年記念式典開催。(総合図書館1階自由閲覧室)記念講演会、記念展示も開催。(1~9日)
1	昭和57	1982		「東京大学総合図書館改善計画試案」発表
6	昭和58	1983	裏田武夫	ブックディテクションシステム導入 <i>開架図書拡大に関連して設置。</i>
6	昭和59	1984		改修工事着工
5	昭和61	1986	山崎弘郎	4階に開架閲覧室展開。
6		附属図書館電算化システム稼働開始。		
4		OPACサービス開始		
10	昭和62	1987		総合目録(洋書)週及入力開始(～1990.3)バックナンバーセンター設置。
10	平成11	1999	落合卓四郎	Webブラウザに対応したOPACシステム(WebOPAC)公開。
10	平成14	2002	廣渡清吾	駒場図書館開館
3	平成16	2004	小宮山宏	「東京大学附属図書館基本規則」の新たな制定。(運営原則は「共働する一つのシステム」とすることを明記。附属図書館は総図、駒図、柏図、部局図書館からなることを規定。)
2	平成17	2005		柏図書館正式開館。自然科学系雑誌バックナンバーセンター設置。
12	平成20	2008	西郷和彦	総合図書館再建80周年記念式典、記念プレート除幕式、記念講演会開催
12	平成21	2009		総合図書館棟ポーチ外灯復元記念披露及び点灯式
3	平成23	2011	古田元夫	新図書館構想推進委員会発足。





# 東京大学新図書館計画

ACADEMIC COMMONS 新図書館



東京大学は、教育と研究のための新たな拠点として、本郷キャンパス総合図書館を大幅に拡充する東京大学新図書館計画を推進しています。

この計画は、図書館前広場の地下に新館を建設し、伝統ある本館は外観を保存したまま、内部を全面改修する、というものです。

総合図書館の歴史を継承しつつ、次の世代にも受け継がれるような新学術拠点の創出を目指しています。

## 新図書館が目指すもの

### 1. 電子図書館と伝統的図書館の融合

- ・本館前広場の地下に、約300万冊収容可能な自動化書庫を建設（新館）
- ・電子情報と実物の本を自由に往き来する「ハイブリッド図書館」

### 2. 世界最高水準のアジア研究図書館

- ・本館4階にアジア研究のための第一級の学術資料を集中
- ・各国の研究者が集う世界最高水準のアジア研究環境に

### 3. 教育との連携と国際化への対応

- ・新館地下1階を、学習や研究活動の広場「ライブラリー・プラザ」に
- ・東京大学が推進する、教育の改革や国際化の取り組みとも連動

### 4. 日本の学術文化の世界への発信

- ・上野/本郷地区には、不忍池を囲むように日本有数の博物館、美術館、大学が並ぶ。新図書館は、これら近隣の文化施設と連携し、世界への日本文化発信の一翼を担う

### 5. 出版文化の公共的基盤

- ・大がかりな電子化を進めると同時に、実物の書籍を確実に管理、活用
- ・日本の社会に確かな知を保証する公共的な基盤の役割を果たす

## 全体像と完成予想図





## 主な展示資料

- ・内田祥三設計図類
- ・震災時焼け残り本  
馬琴日記【貴重書 A00:4613】，三才窮理書【貴重書 A100:1351】  
五明算法【書庫 T20:412】，蟲譜圖説【書庫 T86:181】，海防彙議【書庫 W20:1149】
- ・復興時寄贈書  
論語【貴重書 A00:4595】，朝顔三十六花撰【書庫 T83:84】  
The Works of Geoffrey Chaucer【貴重書 A100:1237】
- ・復興関係資料（館史資料室より）
- ・図書原簿等

## 参考文献等

- ・東京大学附属図書館 [編]. 東京大学百年史 : 部局篇「附属図書館」稿. 東京大学, 1980, 170p.
- ・東京大学附属図書館編. 図書館再建50年 : 1928-1978. 東京大学附属図書館, 1978, 52p.
- ・東大百年特集号. 図書館の窓. 1977, Vol.16, no.4/5, p.33-46.
- ・東京帝国大学編. 東京帝国大学五十年史. 東京帝国大学, 1932.
- ・東京大学附属図書館. 東京大学附属図書館概要2013/2014. 東京大学附属図書館, 2013, 13p.
- ・東京大学附属図書館所蔵資料展示委員会. “常設展 内田祥三と図書館再建80年”. 附属図書館ホームページ. [http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/tenjikai/josetsu/2008\\_11/index.html](http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/tenjikai/josetsu/2008_11/index.html)
- ・東京大学附属図書館所蔵資料展示委員会. “東京大学創立130周年記念特別展示 世界から贈られた図書を受け継いで”. 附属図書館ホームページ. <http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/tenjikai/tenjikai2007/index.html>

## 平成25年度附属図書館所蔵資料展示委員会

委員 北村照夫（委員長），吉田左貴子，三浦圭子，笠原政宏，鈴木剛紀，  
山崎裕子，大澤類里佐，内藤裕美子，蝦原加奈子，岩井雅史  
オブザーバー 関川雅彦，守屋文葉

平成25年10月15日発行

編集 東京大学附属図書館所蔵資料展示委員会  
発行 東京大学附属図書館

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1  
電話 03-5841-2640（情報サービス課）